

佳作
(子ども部)

「心の成長」

荒川区立汐入東小学校六年

井上 日葵

こんにちは。今、とても大変な時ですがお元気ですか。私は、自粛期間中に家にあった絵本を読んできました。小さいころはただ単に、「おもしろい」とか「怖い」って思って読んでいた絵本でも、今になって読んでみると、本の魅力がすごく伝わってきました。例えば、鬼たいじのお話で小さいころは鬼をやっつけている所がかっこいいと思っていたけれど、今になり改めて読んでみると、一人では出来ない事も、二人、三人…と協力すると出来るとい

う事が大切だと感じました。小さいころとはまったくちがう感じで、この本を描いた人はどのような事を思いながら物語を作ったのか、どうしてこの物語にしたのか、という事などを感じる事が出来ました。

もう一つ気づいた事があります。本は、今の世界から別の世界へと連れて行ってくれることです。なので、疲れた時、悩み事がある時、少しでもいいので本を読んでみるのもいいなと思いました。よく図書室の先生は本をつまらないと思う人は最初しか読まないからと言っていました。私もそうだなと思いました。なぜなら、最後まで読まない内容も分からないし、結論や結果も分からないからつまらなく感じるのだと思います。疲れた時少し本を読んでから寝るつもりだったのに、読み深

めていくうちに夢中になってしまい怒られた事もあります。それぐらい本はおもしろいのです。さらに、本はその物語にまるでいるかのような気持ちにもさせてくれます。私だったらこうするのになんて思ったり、確かにと思いき感したりすることが出来ます。また、本は紙に書いてあるので、忘れてしまっても何回も読めるし、久しぶりに読みかえし、なつかしく思える所もいいです。

学校の授業で絵本をつくった時作者が読者に分かりやすく、楽しく読んでもらえるよう工夫して書いている事が分かりました。

私はこれからも色々な本と出会い、たくさん知識を取り入れたいです。お体に気を付けて元気でいてください。

柳田邦男先生からのメッセージ

新型コロナウイルスの拡大で、学校が休校になったとき、家にある幼いころに読んだ絵本を読みなおしてみたとのこと、とてもいいことです。

幼いころには、どこかの場面を「おもしろい」などと感じるだけだったのに、小学校の高学年になって読みなおしてみると、そのような単純な読み方で終わるのではなく、いろいろと気づくことが多くなりますね。

そんななかで、「本はその物語にまるで自分がいられるかのような気持ちにもさせてくれます。私だったらこうするのになんて思ったり……」と書いているところは、小学生なりに様々な人生経験をしてきたからこそ湧いてくる思いでしょう。

これから、高校生、大学生、社会人へと成長して

いく人生の、いろいろな段階で、心に残る本を年月
が経ってから、もう一度読みなおしてみるという
読書の習慣を身につけると、きっと心の豊かな人
になると思います。